

千^{せん} 寿^{じゅ} 七^{しち} 福^{ふく} 神^{しん}

千住の七福神めぐりは、平成4(1992)年に町の人々が発願して千寿七福神の会を結成し、翌5(1993)年から始まりました。毎年成人の日に行われ、各神社では授受品を用意して参拝者を迎えています。旧日光街道を中心に点在し、中でも仲町氷川神社の弁財天(元禄2年造塔・区指定有形民俗文化財)は、三猿の上に弁財像を配した「弁天像供養庚申塔」で、庚申信仰を兼ねた大変珍しい塔です。また、千住本氷川神社の大黒天は唯一の木造であり、区登録有形文化財の旧社殿に祀られています。大黒天は、毎月1・15日と元旦~7日までの期間ご開帳されます。



▲毘沙門天
(白幡八幡神社・千住宮元町3-8)



▲寿老人
(元宿神社・千住元町33-4)



▲福祿寿
(河原町稻荷神社・千住河原町10-13)



▲布袋尊
(大川町氷川神社・千住大川町12-3)



▲恵比寿天
(千住神社・千住宮元町24-1)



▲大黒天
(千住本氷川神社・千住3-22)



▲弁財天
(仲町氷川神社・千住仲町4B-2)